

令和2(2020)年度 第5回

とちぎネットアンケート結果報告書

調査項目

有機農業・有機農産物の利用についての
消費者アンケート

(栃木県農政部経営技術課)



令和2(2020)年 月

栃木県県民生活部広報課

目次

I 概要	-----	1
II 調査結果	-----	3

I 概要

1 調査目的

有機農業について正しい知識を持つ消費者の割合や将来的な需要見込み等を把握するため、調査アンケートを実施しました。

調査アンケート結果については、有機農業を推進するにあたり、今後の施策に反映するための基礎資料として参考に活用します。

2 調査設計

(1) 調査対象者

とちぎネットアンケート協力者(令和2(2020)年度第5回アンケート対象者) 400名

(2) 調査方法

電子メールによる配布及び電子申請による回答

(3) 調査期間

令和2(2020)年7月28日～8月10日

3 回収結果

とちぎネットアンケート協力者(令和2(2020)年度第5回アンケート対象者) 400名中229名が回答

回収率 57.3%

男女別回答者内訳

区分	回答者数(人)	構成比(%)
男性	129	56.3
女性	100	43.7
全体	229	100.0

年代別回答者内訳

区分	回答者数(人)	構成比(%)
10代	1	0.4
20代	5	2.2
30代	26	11.4
40代	57	24.9
50代	44	19.2
60代	53	23.1
70代以上	43	18.8
全体	229	100.0

地域別回答者内訳

区分	回答者数(人)	構成比(%)
県央地域	107	46.7
県南地域	60	26.2
県北地域	62	27.1
全体	229	100.0

4 報告書の見方

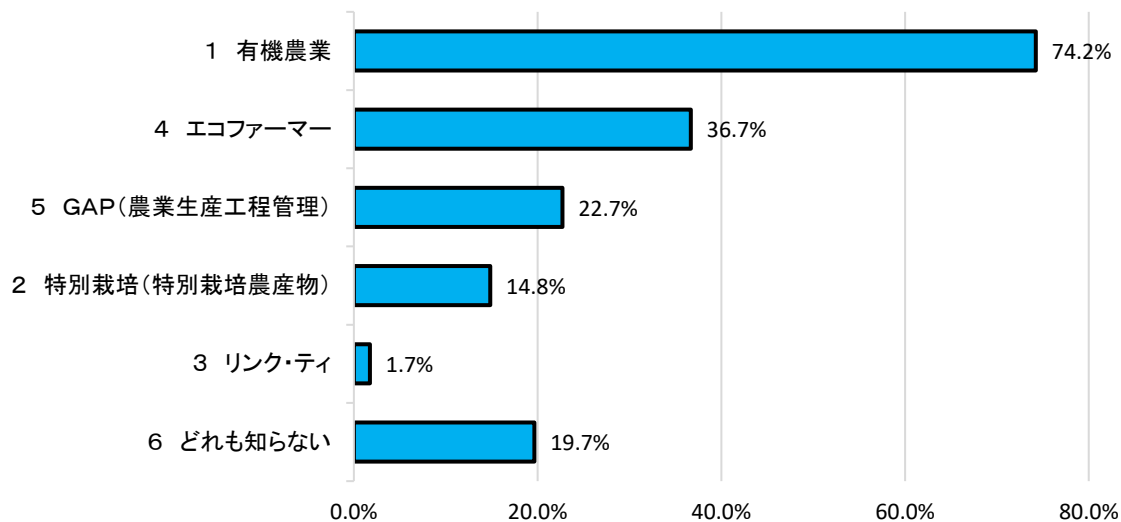
- (1) 本文に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- (2) 百分率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。そのため、単数回答(1つだけ選ぶ設問)の百分率(%)の合計が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答(2つ以上選ぶことができる設問)は、百分率(%)の合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表では、スペースの都合等により回答選択肢を省略して表記している場合があります。

II 調査結果

【問1】あなたは、次の言葉を知っていますか。

次の中から知っているものをいくつでも選んでください。(n=229)

1 有機農業	74.2%
2 特別栽培（特別栽培農産物）	14.8
3 リンク・ティ	1.7
4 エコファーマー	36.7
5 GAP（農業生産工程管理）	22.7
6 どれも知らない	19.7



※選択肢2～5についての詳細は、以下のHPで御覧いただけます。

2 「特別栽培農産物」

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/tokusai_a.html

3 「リンク・ティ」

http://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/work/nougyou/seisan-ryuutsuu/rink_t.html

4 「エコファーマー」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/work/nougyou/keiei-gijyutsu/ecofarmer.html>

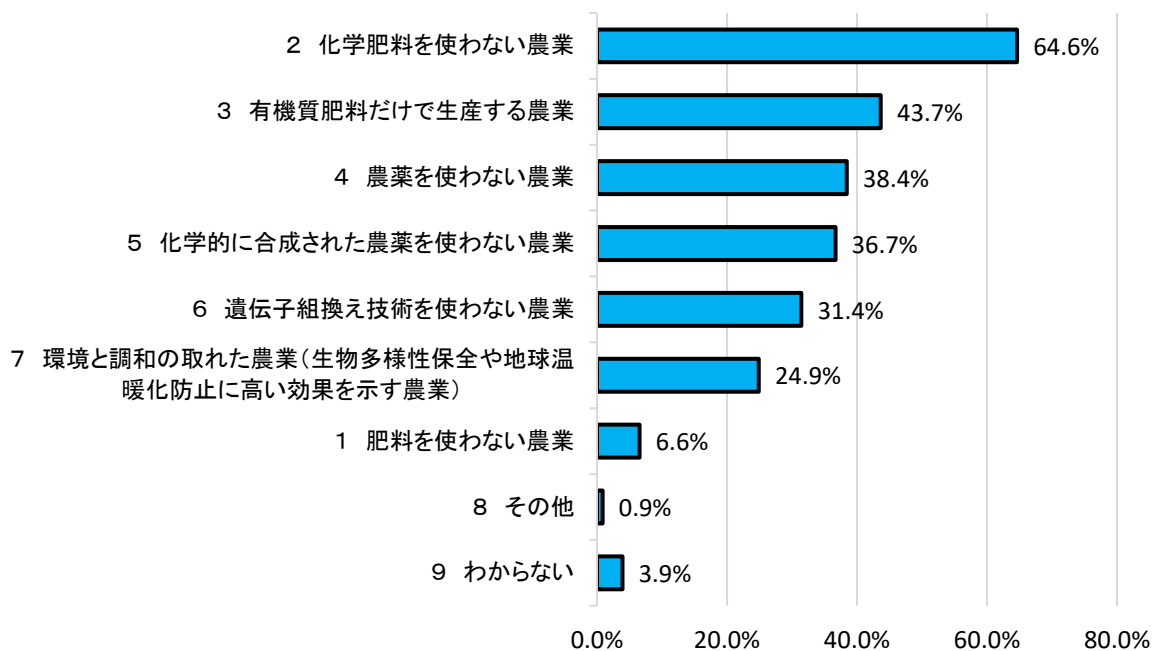
5 「GAP」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/work/nougyou/keiei-gijyutsu/1282796125218.html>

【問2】あなたは、有機農業とはどのような農業だと思いますか。

次の中からいくつでも選んでください。(n=229)

1	肥料を使わない農業	6.6%
2	化学肥料を使わない農業	64.6
3	有機質肥料だけで生産する農業	43.7
4	農薬を使わない農業	38.4
5	化学的に合成された農薬を使わない農業	36.7
6	遺伝子組換え技術を使わない農業	31.4
7	環境と調和の取れた農業(生物多様性保全や地球温暖化防止に高い効果を示す農業)	24.9
8	その他	0.9
9	わからない	3.9



[その他の主な意見]

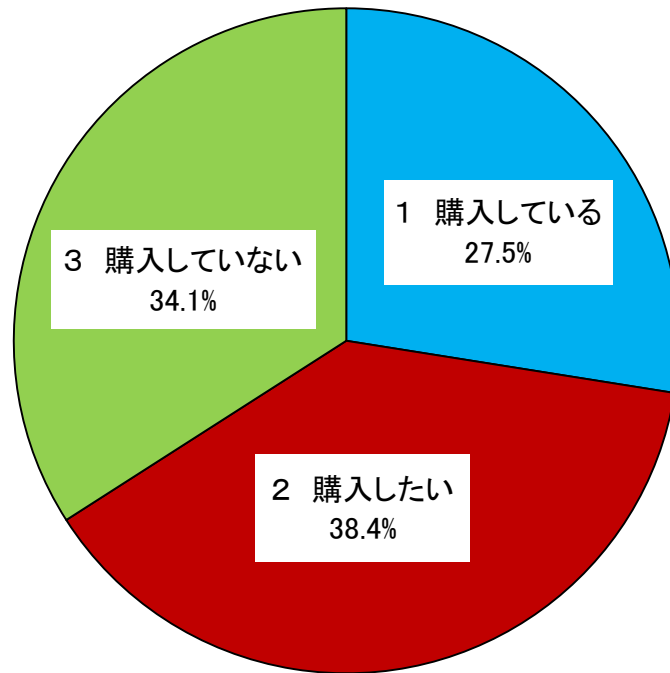
- ・「有機」という言葉から有機質肥料を連想する。
- ・肥料を使う農業。

※「有機農業」についての詳細は、以下のHPで御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/index.html>

【問3】あなたは、有機農業により生産された農産物やその加工品（有機食品）を普段購入していますか。又は購入したいと思いますか。（n=229）

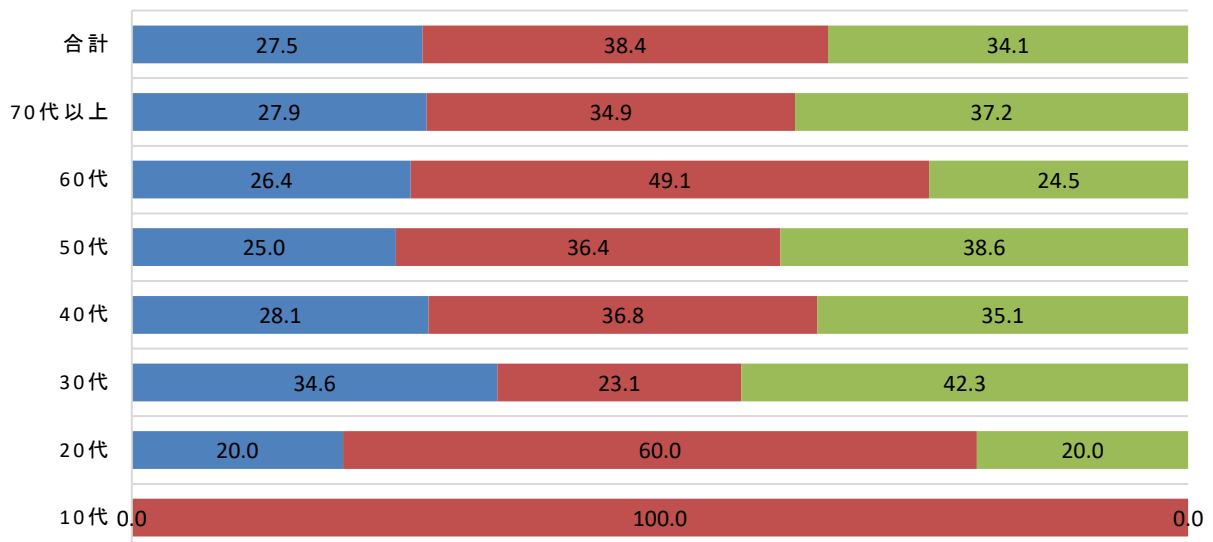
1 購入している	27.5%
2 購入したい	38.4
3 購入していない	34.1



(年代別)

■ 1 購入している ■ 2 購入したい ■ 3 購入していない

(%)

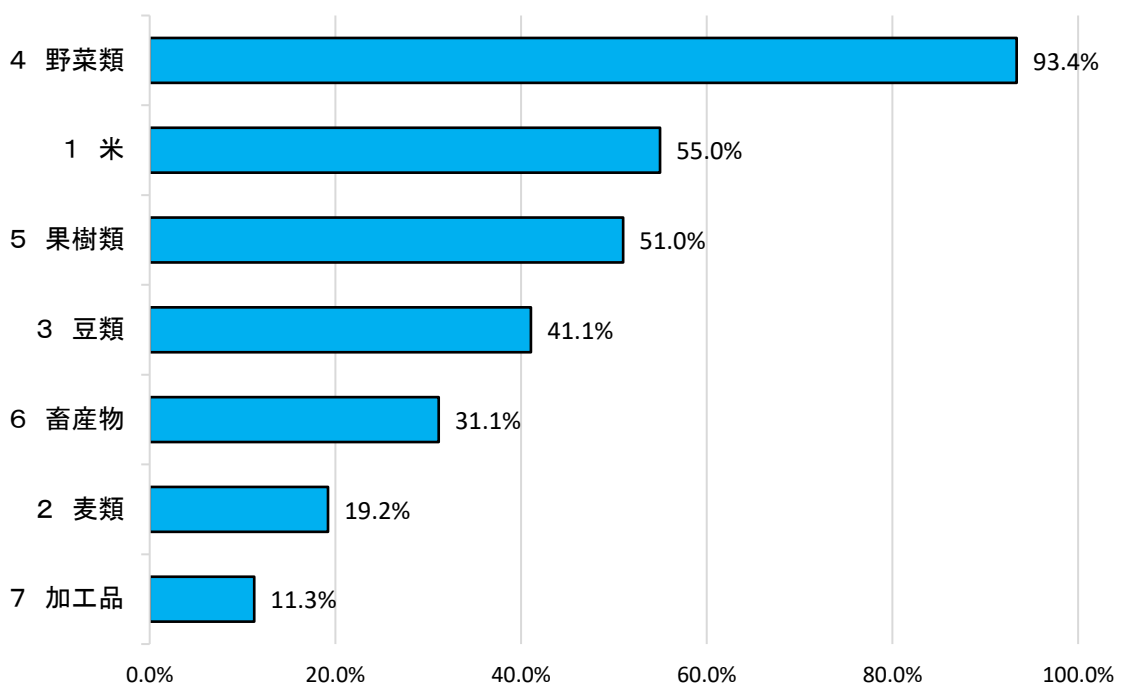


(ここからは【問3】で選択肢1「購入している」又は選択肢2「購入したい」を選んだ方にお聞きします)

【問4】あなたが購入している又は購入したい有機農業により生産された農産物やその加工品(有機食品)はどういったものですか。

次の中からいくつでも選んでください。(n=151)

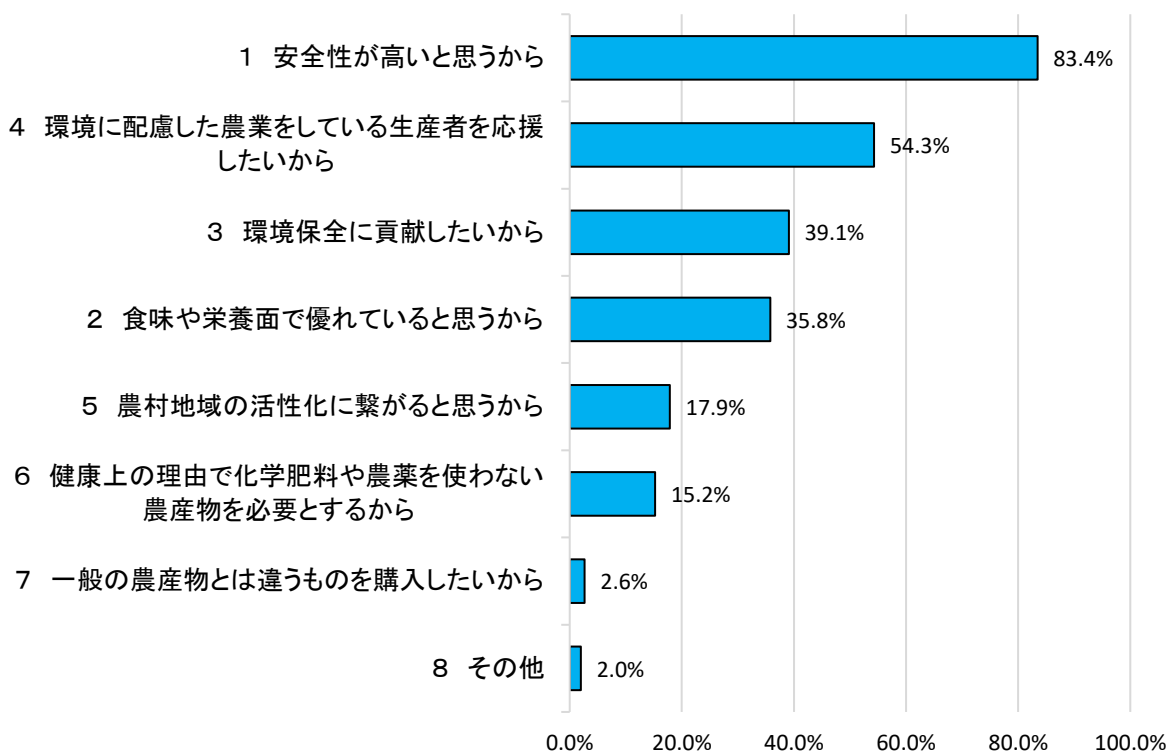
1	米	55.0%
2	麦類	19.2
3	豆類	41.1
4	野菜類	93.4
5	果樹類	51.0
6	畜産物	31.1
7	加工品	11.3



【問5】あなたが有機農業により生産された農産物やその加工品（有機食品）を購入している又は購入したい理由は何ですか。

次の中からいくつでも選んでください。（n=151）

1	安全性が高いと思うから	83.4%
2	食味や栄養面で優れていると思うから	35.8
3	環境保全に貢献したいから	39.1
4	環境に配慮した農業をしている生産者を応援したいから	54.3
5	農村地域の活性化に繋がると思うから	17.9
6	健康上の理由で化学肥料や農薬を使わない農産物を必要とするから	15.2
7	一般の農産物とは違うものを購入したいから	2.6
8	その他	2.0

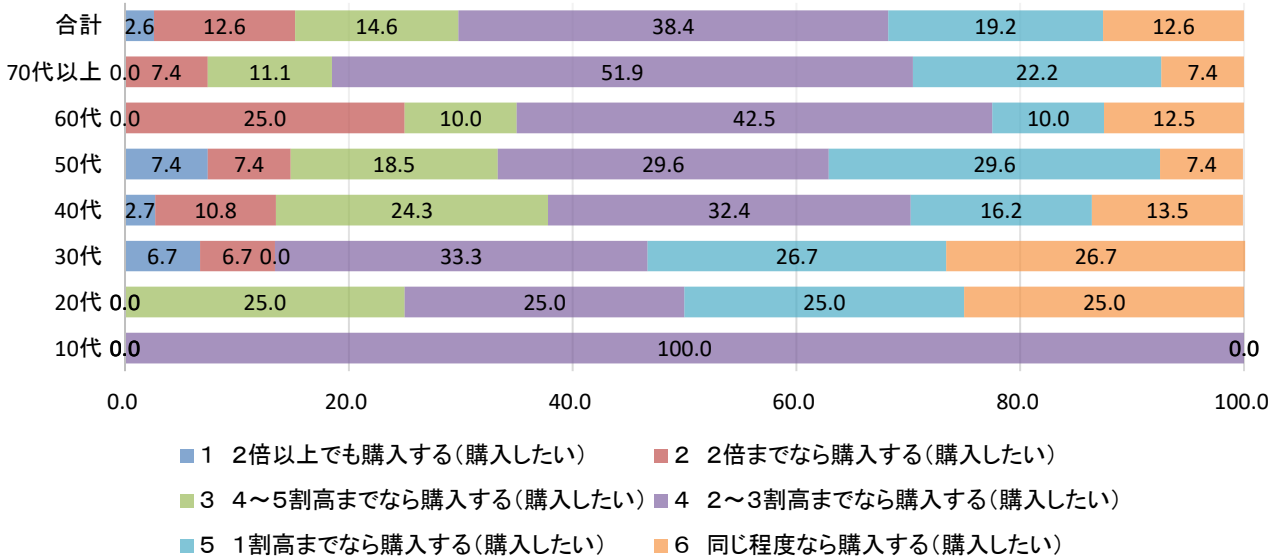
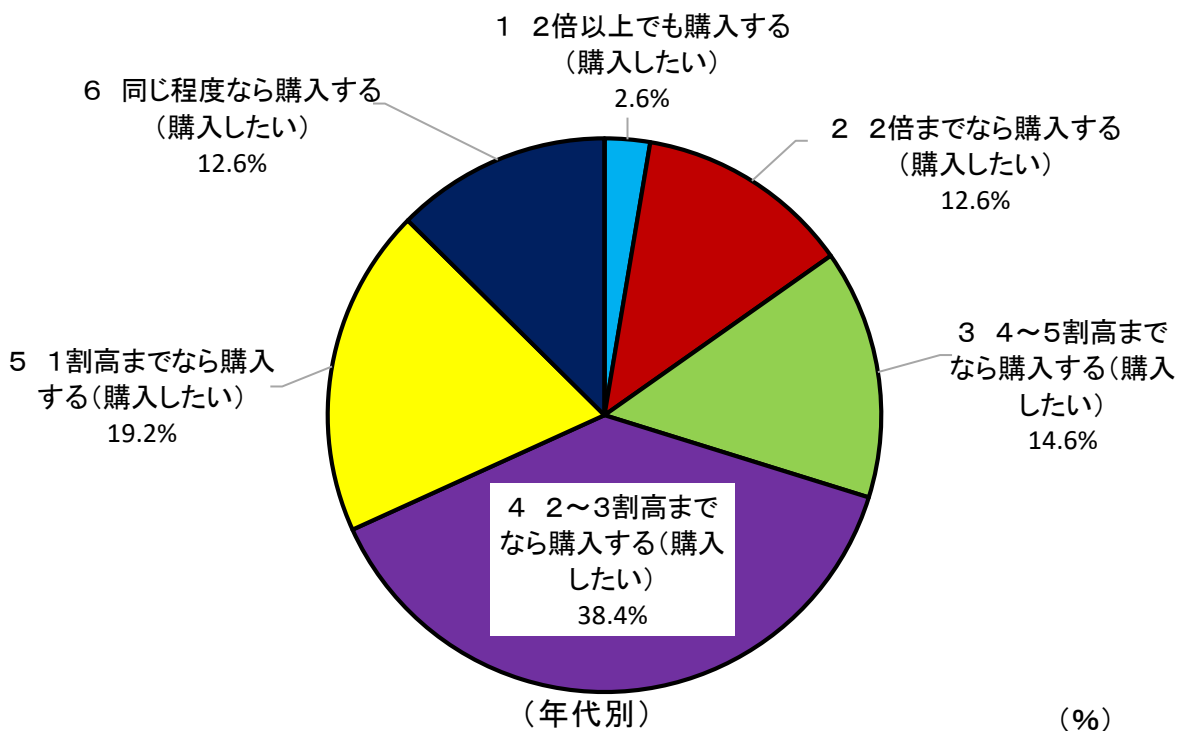


[その他の主な意見]

- ・味が違う。
- ・地元の生産者を応援したい。
- ・特に理由はないが、近所の農家が有機栽培して販売しているので購入している。

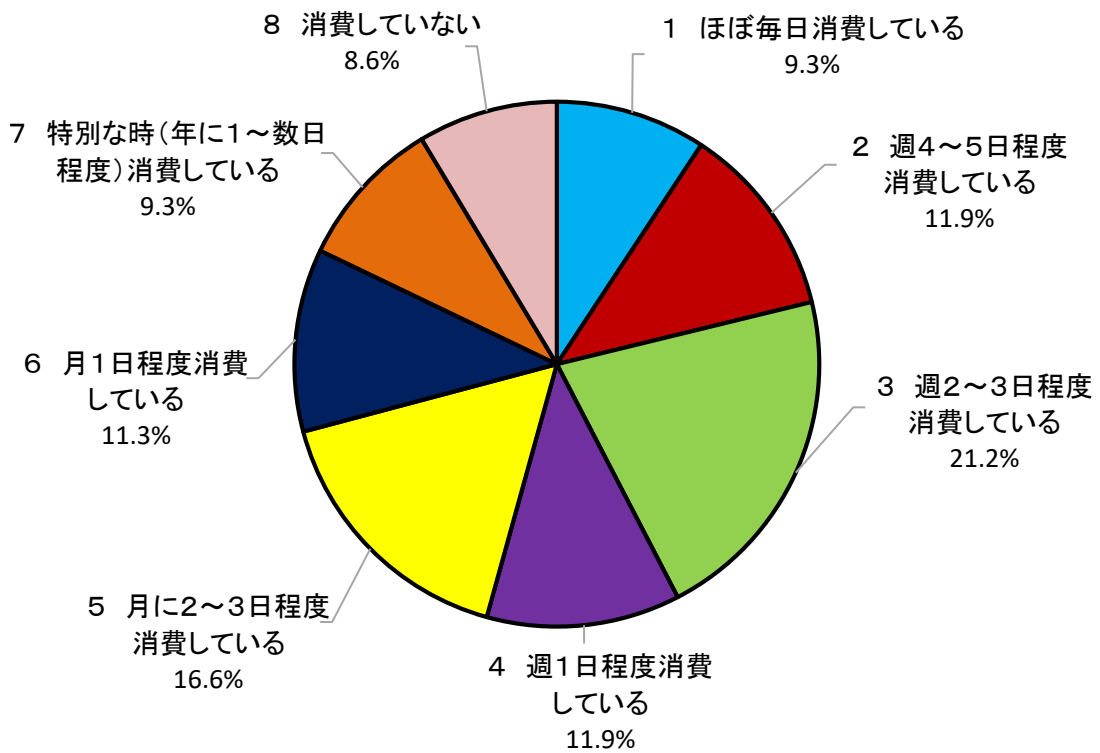
【問6】あなたは、有機農業により生産された農産物やその加工品（有機食品）について、慣行栽培農産物やその加工品と比較して、どの程度の価格差まででしたら、継続的に購入すると思いますか。（n=151）

1	2倍以上でも購入する（購入したい）	2.6%
2	2倍までなら購入する（購入したい）	12.6
3	4～5割高までなら購入する（購入したい）	14.6
4	2～3割高までなら購入する（購入したい）	38.4
5	1割高までなら購入する（購入したい）	19.2
6	同じ程度なら購入する（購入したい）	12.6

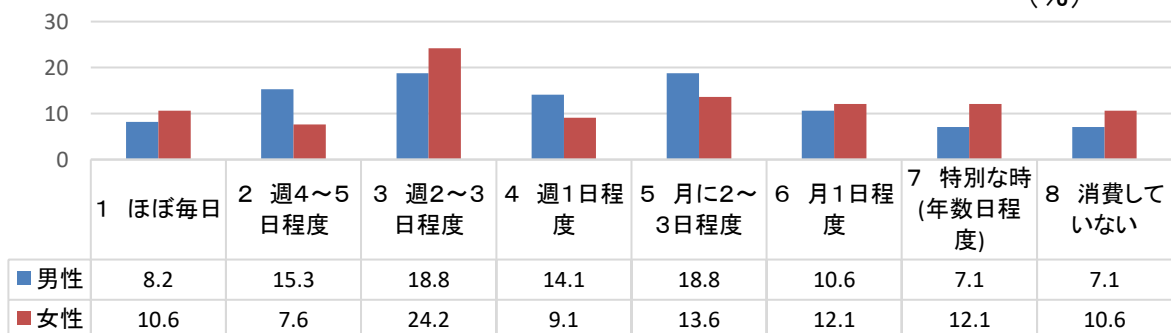


【問7】あなたが有機農業により生産された農産物やその加工品（有機食品）を現在消費している頻度はどれくらいですか。（n=151）

1	ほぼ毎日消費している	9.3%
2	週4～5日程度消費している	11.9
3	週2～3日程度消費している	21.2
4	週1日程度消費している	11.9
5	月に2～3日程度消費している	16.6
6	月1日程度消費している	11.3
7	特別な時（年に1～数日程度）消費している	9.3
8	消費していない	8.6

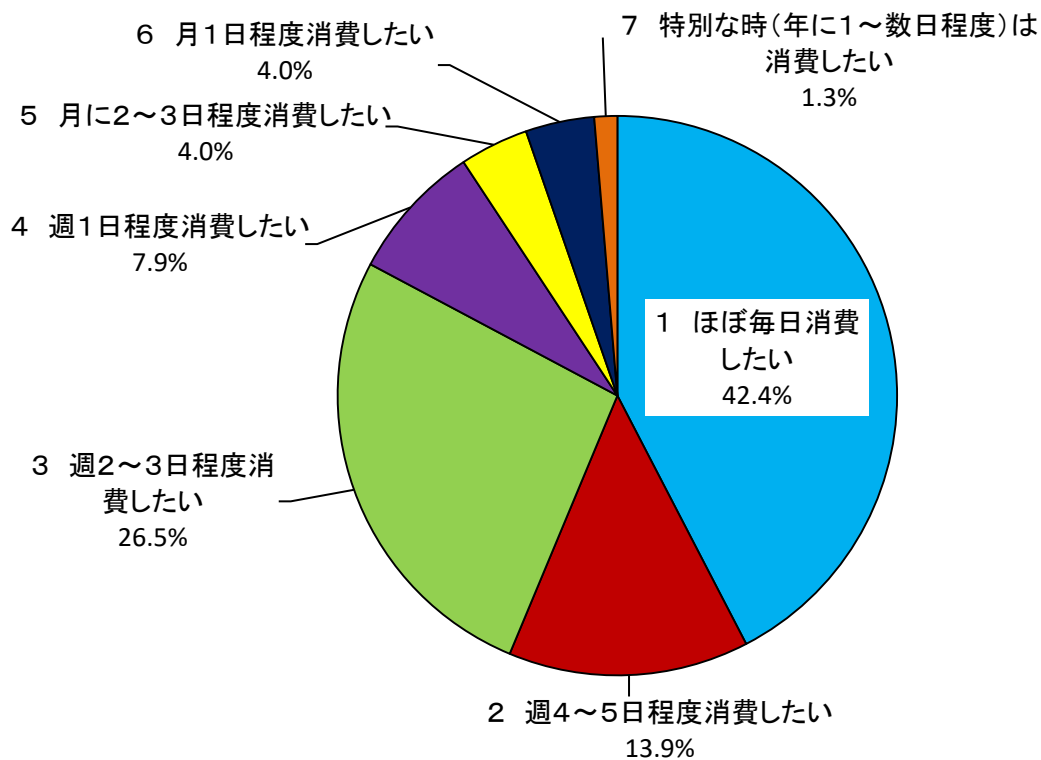


(男女別 消費頻度)



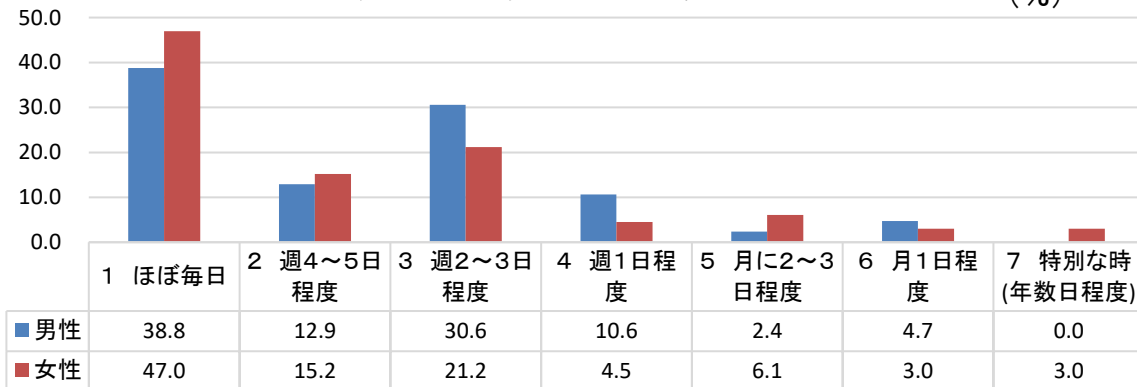
【問8】あなたが有機農業により生産された農産物やその加工品（有機食品）を消費してみたい頻度はどれくらいですか。（n=151）

1	ほぼ毎日消費したい	42.4%
2	週4～5日程度消費したい	13.9
3	週2～3日程度消費したい	26.5
4	週1日程度消費したい	7.9
5	月に2～3日程度消費したい	4.0
6	月1日程度消費したい	4.0
7	特別な時（年に1～数日程度）は消費したい	1.3



(男女別 消費してみたい頻度)

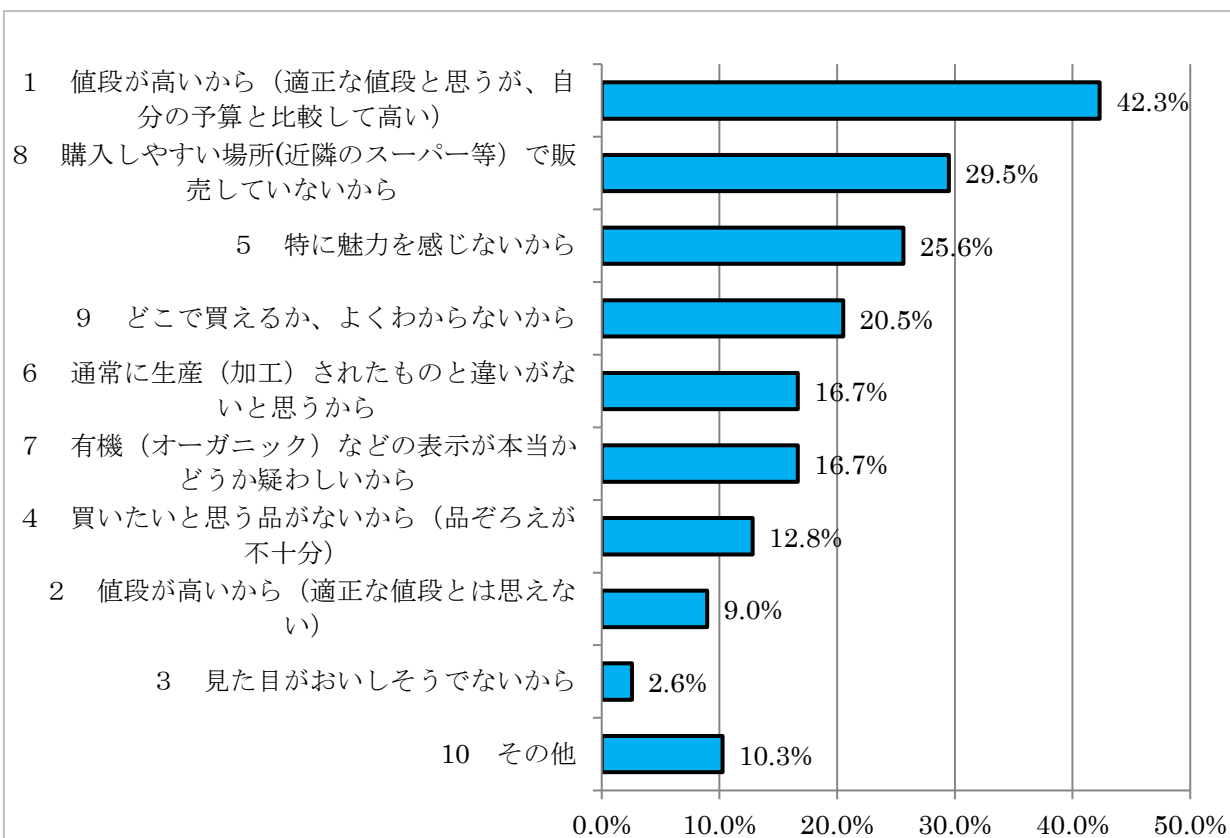
(%)

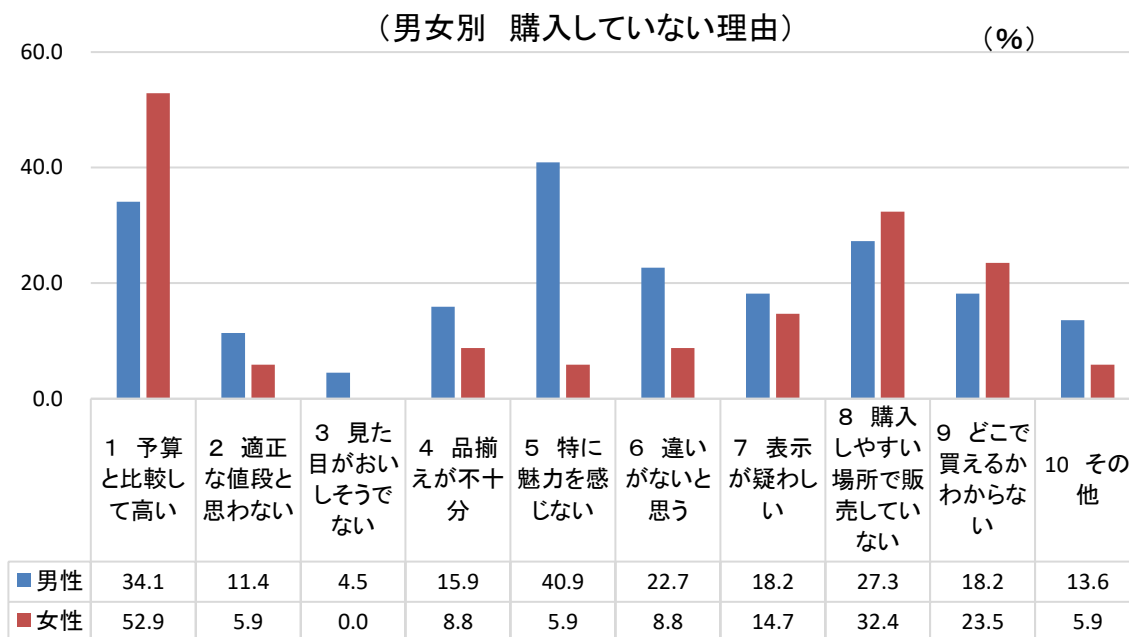


【問3】で選択肢3「購入していない」を選んだ方にお聞きします)

【問9】あなたが有機農業により生産された農産物やその加工品(有機食品)を購入していない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(n=78)

1	値段が高いから(適正な値段と思うが、自分の予算と比較して高い)	42.3%
2	値段が高いから(適正な値段とは思わない)	9.0
3	見た目がおいしそうでないから	2.6
4	買いたいと思う品がないから(品ぞろえが不十分)	12.8
5	特に魅力を感じないから	25.6
6	通常に生産(加工)されたものと違いがないと思うから	16.7
7	有機(オーガニック)などの表示が本当かどうか疑わしく思うから	16.7
8	購入しやすい場所(近隣のスーパー等)で販売していないから	29.5
9	どこで買えるか、よくわからないから	20.5
10	その他	10.3





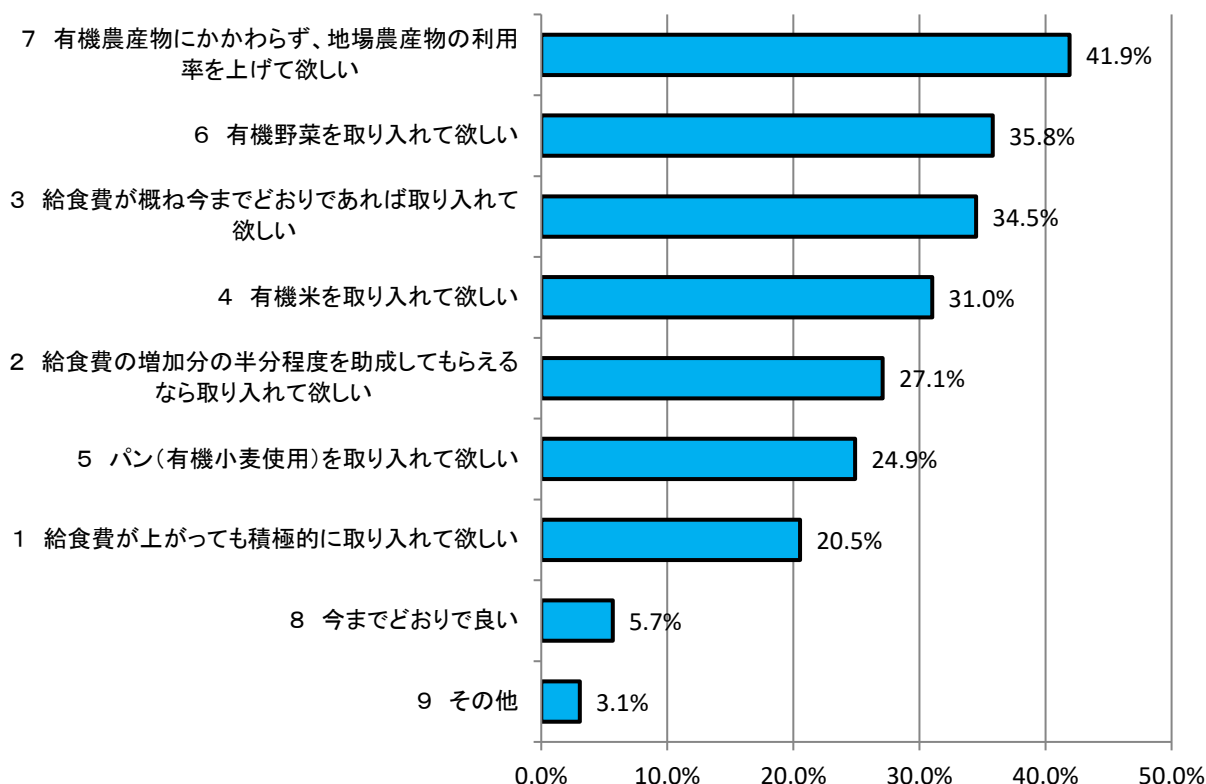
[その他の主な意見]

- ・農家なので、野菜は十分にある。自家生産者。
- ・スーパーなどで、表示が明確でない。有機品コーナーでも設けないと消費者は選べない。
有機なのか無機なのかわからない。
- ・有機食品を購入しないのではなく、特に、それを気にして選択していない。
- ・外国産が多く、安全性に疑問を感じる。
- ・食べないほうが良いという親の意見を聞いて育ったので、自然と避けている。

【問10】学校給食への地場農産物利用が進む中、県外では学校給食全量有機米とし食農教育に取り組む市が現れ、世界的にも学校給食における有機食材利用率を高める動きが見られます。

あなたは、有機農産物を学校給食に取り入れることについて、どのようにお考えですか。次の中からいくつでも選んでください。(n=229)

1	給食費が上がっても積極的に取り入れて欲しい	20.5%
2	給食費の増加分の半分程度を助成してもらえらるなら取り入れて欲しい	27.1
3	給食費が概ね今までどおりであれば取り入れて欲しい	34.5
4	有機米を取り入れて欲しい	31.0
5	パン（有機小麦使用）を取り入れて欲しい	24.9
6	有機野菜を取り入れて欲しい	35.8
7	有機農産物にかかわらず、地場農産物の利用率を上げて欲しい	41.9
8	今までどおりが良い	5.7
9	その他	3.1



[その他の主な意見]

- ・学校給食の取り組みが分からない。

- ・生産者を応援するための補助金があってもよい。
- ・給食費の値上げは反対。親の負担が増える。
- ・子供の体に良いものを取り入れる事で、原因不明の病の根絶に少しでも寄与し、100年先の日本を考える事が我々の責務と考えている。
- ・「いちご、にら、ねぎ」等、栃木県特産品をもっと主体的に献立に取り入れるべきで、経済的な理由だけで県外に出荷するような農産物流を根本的に変えるべき。「生乳」は生産量こそトップクラスと言いながら、地元は何らそれらしい施設もなく、製品価格も地元にもメリットを与えることなどもなく、地域の特色が何ら反映されていない。地場産業とは何なのか初心に帰ったほうがよいのではないか。
- ・有機食材を学校給食に取り入れるに併せて、先生方または地域の農業関係者から児童生徒によく説明をしてほしい。「どういう食材なのか、従来品との違い」「農家の努力や苦勞など」「みなさん(児童生徒)に期待すること」。